

第5回 ～家族を歌う～河野裕子短歌賞 入賞作品

河野裕子賞 家族の歌・愛の歌

ふたり
こ
二人息子の広き背中の間より麻酔覚めゆく夫を見守る

京都府宇治市 奥田 君子

河野裕子賞 青春の歌・高校生の部

ストーブの周りを囲む大晦日娘になった母の横顔

福岡県立修猷館高等学校 雪吉 千春

河野裕子賞 青春の歌・中学生の部

揚げたてのエビフライのようにばりばりと口にあばれるわたしの言葉

青森県三沢市立堀口中学校 小野寺 夢乃

【選者賞】

永田和宏選 (家族の歌・愛の歌)

葬式が面倒だから死ぬなよと息子は言うがそうもいかない

東京都杉並区 伊東 澄子

池田理代子選 (青春の歌)

階段を6段ぴよんと飛び降りたいつも真面目な宮迫君が

宮崎市立宮崎西中学校 清水 真名

俵万智選 (家族の歌・愛の歌)

夜泣きする吾子と守りするわれがいて眠れぬつらさ分け合っている

香川県丸亀市 寒川 靖子

東直子選 (青春の歌)

暴風になぶられているケヤキの木変わりたいのに変われないから

青森県三沢市立堀口中学校 篠崎 万衣香

島田幸典選 (青春の歌)

誤反応誤動作干渉動作不良もの創るのも楽にはできぬ

広島県呉工業高等専門学校 山崎 隆

第5回 ～家族を歌う～河野裕子短歌賞

《家族の歌・愛の歌》 入賞作品

河野裕子賞 家族の歌・愛の歌

ふたり こ
二人息子の広き背中の間より麻酔覚めゆく夫を見守る

京都府宇治市 奥田 君子

育みの短歌賞

準急の最も傾き行くとこ乳与えつつ越えし春あり

大阪府富田林市 橋本 恵美

恋の歌愛の歌賞

離れ住む夜の数だけ増えてゆく通話履歴にあなたの名前

鹿児島市 吾孫子 公美

産経新聞社賞

玄関にトイレに居間に木の手摺り父亡きあとの我らに残る

兵庫県芦屋市 中島 富美子

京都女子大学賞

母の日の会食終はればそれぞれの家族を連れて子が帰りゆく

兵庫県川西市 広瀬 明子

選者賞 永田和宏選

葬式が面倒だから死ぬなよと息子は言うがそうもいかない

東京都杉並区 伊東 澄子

選者賞 俵万智選

夜泣きする吾子と守りするわれがいて眠れぬつらさ分け合っている

香川県丸亀市 寒川 靖子

京都府知事賞

支柱挿し捲きてやれどもインゲンの離れ伸びゆく息子にも似て

京都府綾部市 松下 二三夫

京都市長賞

あかあかと暗闇のなか薪能舞う君からは見えない私

東京都小金井市 浅岡 恵美子

湖南市長賞

「赤ちゃんを見るような目でボクを見て」四歳長男我を見つめき

兵庫県宝塚市 河内 香苗

京都女子学園長賞

別れ来ていつまでも残る温もりの手はさくさくとキャベツ切りをり

青森県六戸町 野崎 和子

『短歌』編集部賞

母さんよ母さんではない母さんよ今日は妻ですランチクルーズ

千葉県野田市 片倉 伸明

NHK出版賞

広告の裏に書かれし仮名文字は星座に似たる幼の手紙

山口県光市 瀬戸内 光

短歌研究社賞

ネクタイが曲がりしままなり毎春を若さ増しゆく遺影の夫は

大阪府豊能町 熊ノ郷 紀子

青磁社賞

母の日もすでに夕暮れ息子ゐるゆゑの淋しさ刺草に似る

和歌山市 榎本 紀子

第5回 く家族を歌うく河野裕子短歌賞

《青春の歌》 入賞作品

河野裕子賞 青春の歌・高校生の部

ストーブの周りを囲む大晦日娘になった母の横顔

福岡県立修猷館高等学校 雪吉 千春

河野裕子賞 青春の歌・中学生の部

揚げたてのエビフライのようにばりばりと口にあばれるわたしの言葉

青森県三沢市立堀口中学校 小野寺 夢乃

産経新聞社賞

フルートで伝えたいんだこの想い吸っても足らず吐いても余る

神戸市立湊翔楠中学校 西上 珠子

京都女子大学賞

前髪を何度も直す妹の靴下の高さ不揃いのまま

東京都 学習院女子高等科 吉村 那月

選者賞 池田理代子選

階段を6段びよんと飛び降りたいつも真面目な宮迫君が

宮崎市立宮崎西中学校 清水 真名

選者賞 東直子選

暴風になぶられているケヤキの木変わりたいのに変わらないから

青森県三沢市立堀口中学校 篠崎 万衣香

選者賞 島田幸典選

誤反応誤動作干渉動作不良もの創るのも楽にはできぬ

広島県呉工業高等専門学校 山崎 隆

京都府知事賞

鬼ごっこ鬼がわからない鬼ごっこ制服だらけの教室の中

山口県光市立光井中学校 谷口 寧音

京都市長賞

リビングに寝転ぶ姉の隣にて初めてわかるまつげの長さ

東京都 学習院女子高等科 大内 実結

湖南省長賞

食卓に庭からとった夏野菜じゅわっとトマトぱきっときゅーり

名古屋市立駒方中学校 服部 友美

京都府教育長賞

自転車を降りて歩幅を揃えつつ友と語らう午後六時過ぎ

広島県呉工業高等専門学校 舛田 卓治

京都市教育長賞

国民を人質にとり新しくない朝を消すラジオ体操

宮城学院中学校 熊谷 友紀子

湖南省教育長賞

夕食と家族が私を待っていて通学かばんをやっと下ろせる

三重県 高田中学校 宮口 紗良

京都女子学園長賞

雨音があまりにきれいだったからイヤホン片方外して歩く

東京都 学習院女子高等科 小松 都佳

『短歌』編集部賞

口癖が「つらい」の私を慰める素直に「つらい」と言えぬ友かな

東京都 学習院女子高等科 中山 夏帆

NHK出版賞

パレットの絵の具を流す 夏の青わたしの時間をとじこめていた

鳥取県立八頭高等学校 澤 あかね

短歌研究社賞

ただ一つ視界にあるのはゴールラインぼくの視界は百八十度

静岡市立清水第七中学校 唐渡 巴琉

青磁社賞

母親が弁当作る おにぎりでいいと頼むと具を工夫する

兵庫県立北摂三田高等学校 三宅 慎一郎